

絆
さずな

東日本大震災支援

『横軸連携・姉妹校交流の歩みとこれから』



総会において、樋下照男副会長（大宮中）からこれまでの三年間の横軸連携を中心とした取組についての説明が行われた。

発災当時の中学生の被災者数や中学校の被災状況についての確認があり、特に

も、「県内で15名もの中学生の尊い命が奪われたことは誠に残念であったが、学校にいた生徒は一人も死者・行方不明者を出すことなく、校長をはじめとする教職員によって無事に避難誘導されたことを私たちは忘れてはならない」ことが話され、全国に誇れる横軸連携体制による姉妹校支援（交流）がスタートしたことや、これまでの取組と今後の見通しを確かめ合った。

校長が代わっても、どの学校も必要な支援や交流が可能となるよう、姉妹校連携を存続させて行くことが確認された。

1 平成23年度の取組

①情報収集（常任理事被災校訪問等）

②横軸連携体制による姉妹校間連携での学用品等

の支援と交流の推進

③全日中をはじめとする各団体からの見舞金・義捐金の活用による支援（復興太鼓贈呈など）

④被災校情報交換会（横軸連携会議）の開催



⑤記録集『明日を見て前を向いて』発刊

2 平成24・25年度の取組

①情報収集の継続（常任理事被災校訪問等）

②姉妹校連携での支援・交流の推進

③全日中やベルマーク財団などの各団体からの見舞金・義捐金の活用による支援

ア わらび座「走れメロス」観賞会の実施

イ 姉妹校交流活動バス支援

④被災校情報交換会の実施（H24）

⑤記録集（最終集）の編集

3 平成26年度の取組

①全日中をはじめとする各団体からの見舞金・義捐金の活用による支援の継続

・交流バス支援は平成27年度まで継続。

（弾力的な運用を検討しているので、事務局担当に相談のこと）

②姉妹校連携等での支援・交流の継続

③記録集（最終集）『未来への一步を共に』発刊

④情報収集の継続（常任理事被災校訪問等）

■編集作業が遅れていますが、記録集『未来への一步を共に』が届けられた際には、是非、ご覧いただき、ご活用いただければと願っています。



総会に先立ち、急逝された盛岡市立河北小学校の熊谷達也校長を追悼し、全員で黙祷いたしました。来賓の八重樫勝教育委員長からも挨拶の中で「急逝されたことは痛恨の極みであり、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。」「ご出席の校長先生方には、健康等に十分に注意しながら、学校経営にあたられますようお願いいたします。」との言葉がありました。

